

事務事業名		墓園墓地管理運営事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造			事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業		
	施策名	05 環境の保全と共生							
	基本事業名	03 良好な生活環境の向上							
根拠法令		墓地・埋葬等に関する法律、同施行規則、大船渡市墓園条例、同施行規則			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 S40 年度～) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度～ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01 04 01 05 01		
所属	部課名	生活福祉部市民生活環境課							
	係名	環境衛生係	電話	0192-27-31111					
		内線	125						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市が設置した丸森墓園及び長谷堂墓地を良好な状態で維持管理するために行われる事業である。 業務内容は、大別すると2つあり、1つは墓園の維持管理業務である。具体的には、墓標等設置工事の立会い、墓園内の清掃、草刈、墓園内の定期巡回、ごみの搬出などであり、これらは指定管理者に委託している。もう1つは、各種届出書の処理や墓園管理料徴収業務である。具体的には、返還されて空き区画が生じた場合の新規使用者の募集・使用許可業務、墓地工事申請の受付承認業務、使用者の名称変更(承継)受付・許可業務、その他使用者情報等に変更が生じた場合の各種書類受付・処理業務、墓園管理料徴収などがあり、これらは市の担当者が行っている。 事業費は、指定管理者の委託料、修繕料、墓園内通路の整備業務委託料などとして支出される。					全体計画(期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 巡回回数 回	
丸森墓園空き区画の新使用者募集、墓標等設置工事の立会い業務、定期巡回や清掃作業・草刈、園内及び法面刈り払い業務(2回)、ゴミ搬出作業、丸森墓園内通路整備事業、丸森墓園水道施設修繕業務、丸森墓園誘導看板設置業務、長谷堂墓地臨時駐車		イ 修繕回数・委託業務件数 件	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ 墓地届出変更・工事等件数 件	
前年度とほぼ同じ			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
墓園・墓地の使用者		名称 単位	
墓園・墓地		カ 墓園墓地使用者数 人	
		キ 墓園・墓地管理面積 m ²	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
使用者に気持ちよく使用していただく			
墓園・墓地を良好な状態に保つ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称 単位	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ 苦情件数 件	
良好な生活環境を確保する		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業費	単位						
		千円						
投入量	事業費	国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
		その他	639	671	670	760	839	666
		一般財源	314	273	290	378	464	2,559
	事業費計(A)		953	944	960	1,138	1,303	3,225
	人件費	正規職員従事人数	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	520	520	520	520	520	520
		人件費計(B)	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080
	トータルコスト(A)+(B)		3,033	3,024	3,040	3,218	3,383	5,305
活動指標	ア	回	58	70	70	70	70	70
		件	9	7	3	5	4	7
		件	45	44	52	50	52	42
対象指標	カ	人	789	785	788	785	790	788
		m ²	11,869	11,869	11,869	11,869	11,869	11,869
成果指標	サ	件	2	1	0	3	2	3

事務事業ID	0080	事務事業名	墓園墓地管理運営事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

丸森墓園、昭和40年度に市内の個人墓地の整理と、墓地需要に応える公営墓地として整備した。長谷堂墓地は、現在の県立大船渡高校の建設地にあった集団墓地の代替地として整備したものである。

現行条例および施行規則：大船渡市墓園条例（平成元年施行）、大船渡市墓園条例施行規則（昭和41年5月17日施行）

事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・墓地経営主体は、地方公共団体、これによりがたい場合にあっては宗教法人もしくは公益法人に限られている、という点については変化がないが、市民の墓地需要は高まってきており、市営墓地の空き区画に対する照会が年々増えてきている。こうしたことから、他の墓地に移転するなどの理由により、空き区画ができた場合には、新規使用者の募集を行うことで対応をしている。最近では、平成16年度に2区画、平成18年度に7区画、平成19年度に4区画、平成21年度に6区画、平成22年度に4区画の新規使用者募集を行った。

・一方で、使用者の死亡後、承継人がいないため、無縁化する区画も出てきており、墓園管理料の徴収や区画の維持管理面での問題となっている。

この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

住民から、市営墓地の造成や拡張の要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 墓園・墓地を適切に清掃・整備し、良好な状態に保つことは、良好な生活環境の向上と結びついている。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 墓地という性質上、永続的に維持することが条件とされており、墓地の経営は地方公共団体が行うべきものであるという解釈が全国的な認識であることから妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象、意図は、条例に則ったものであり適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 苦情があった場合には、できる限りで早急な対応を行っている。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 市内の寺院等における空き区画が不足しており、現在の市営墓地使用者の移転先となる墓地区画数を市内でまかなうことは困難である。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 類似事業がないため。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 墓園内の維持管理に要する費用は現在でも可能な限り削減されたものであり、これ以上の削減を行った場合には、適正な管理（適切な時期の墓園内の草刈や、大雨等による土砂の流出を避けるための敷き砂利等）が困難となり、墓地使用者が気持ちよく利用することが困難になる。
	人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 平成17年度までは巡回や草刈等は個人委託で行っており、さらに平成18年度から指定管理者制度により委託を一括し事務量の削減に努めていることから、既に削減が図られている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 市営墓地の区画使用者が負担する管理料は1㎡につき200円であり、1区画あたりの管理料は最高でも年額4,000円となっており、他市と比較した場合は低額となっているが、管理料の収入総額が、墓地の管理運営に要する経費（指定管理者への委託料等）とほぼ同額となっており、受益者の負担額は公平であると考えられる。

事務事業ID	0080	事務事業名	墓園墓地管理運営事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 18年度から墓園墓地の管理運営に指定管理者制度を導入した結果、ごみ搬出作業や草刈、定期巡回などがきめ細やかに行われるようになるなど、より適切な管理運営が図られている。また、墓園内通路についても、大雨後には見回りをを行い、墓参時の歩行に障害となる部分については、直営で砂利を敷いたり、業者委託するなど適切な維持管理を行った。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 市営墓地には、宗教、宗派による制限がなく、使用料・管理料が低額なため、墓地の空き区画には多くの応募者がいる。 但し、使用者の死亡等により無縁化が予想される区画があるなど、墓地経営の問題点も現れ始めており、市営墓地の拡張については、慎重な判断が必要とされるため、当面の間は、現状で運営を維持していく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	市民生活環境課長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由 全体的な総括は十分行われており、適切に維持管理されている。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり														
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 墓地の空き区画には多くの応募があるが、墓地の拡張は慎重に取り組むべき課題であることから、現状どおり継続して事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
